

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年4月24日
事業所名	グループホーム フレンズハウス大塩
ユニット名	
事業所番号	2371001088
記入者名	職名 ホーム長 氏名 増田 芳仁
連絡先電話番号	(052) 352 - 0820

自 己 評 価 票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『おきらくごらく、おきらくに楽しく笑い、ごらくに自然に生き、地域にとけこみ、おきがるに楽しく、ごらくに立ち寄れる居心地の良い我が家をめざす』という理念を掲げている。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事務所の玄関に掲示しており、目につきやすい様にしてある。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入所の際に説明をして、ご家族様に理解をして頂いている。また、運営推進会議にて、地域の方の理解を得られる様に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や外出等の際に隣近所の方と会った時は挨拶を交わしている。また、町内会にも参加している。	○	気軽に立ち寄って頂けるまでの日常的なお付き合いはないので、事業所の行事案内等を作成し、参加を呼びかけたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の運動会や敬老会に毎回積極的に参加させて頂いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近所の公園の草むしりや清掃活動を行っている。	○	散歩時にゴミ拾いを行なう等、小さな事から地域に貢献していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者より意義を説明している。また、評価結果をもとに、業務の改善に取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の議事録は職員が目を通す事が出来る様にしているが、それに対しての話し合いはできていない。	○	運営推進会議の報告を職員に行なう場を設け、サービスの質の向上に活かせる様にしたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の介護保険事業者連絡会に参加し、そこで得た情報等をホームに還元し、サービスの質の向上に努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要に応じて成年後見人制度を活用出来る様、支援している。	○	成年後見人制度について職員が深く学ぶことができるよう、今後勉強の場を設けていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者・職員一丸となって虐待の防止に徹底し、努めている。	○	高齢者虐待防止関連法について深く学ぶ機会がないので、今後勉強の場を設けていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、重要事項説明書と誓約書の説明を充分に行ない、理解を得ている。		
13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的なカンファレンスや、ご利用者様との日々のコミュニケーションから希望・意見を汲み取るうと努めており、必要であれば話し合いの場を設けている。また、運営推進会議にはご利用者様にも参加していただいている。		
14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	フレンズ通信によりホーム全体の活動内容や、個々の生活状況のお知らせを行なっている。また、面会時にはお小遣い等、金銭管理のチェックやご利用者様についての連絡・報告を行なっている。		
15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や電話連絡の際に、意見等をお聞きしている。また、玄関に意見箱を設置しており、ご家族様の意見を汲み取れる様に努めている。		
16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々のコミュニケーションやカンファレンスで意見や提案を聞き、それを月に一回の運営会議にて話し合い反映に努めている。		
17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員で話し合い、協力して状況や要望に対して勤務を調整する等、柔軟な対応に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員の意見・不満等を聞ける話し合いの機会を積極的に設け、離職を抑えるように努めている。また、異動は出来るだけ最小限に抑え、ご利用者様に負担かけない様に努めている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修や外部研修に参加している。(認知症ケア・ストレスケア・感染症予防)		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区の介護保険事業者連絡会に参加している。	○	地域の同業者との交流の機会はほとんどないので、今後機会があれば積極的に参加していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	普段から意見・要望を相談し話し合える様にコミュニケーションをしっかりと取り、良好な関係を築いている。また、忘年会や新年会等、他のホームの職員と交流・意見交換する場を設けている。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己評価・人事考課を行っており、常に目標を持って働ける様に努めている。	○	施設外研修等に、今以上に参加していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用前には、些細な事でも不安等を感じている事は傾聴し、話し合い、解決出来る様にしている。また、ご利用後は信頼関係が築ける様に職員全員が努めている。	
24	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接・相談の際、意見・要望等の話し易い場の雰囲気作りに努めている。また、電話等でも相談を受け付けている。	
25	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様の希望と、ご利用者様の状態とを見極め、適切なサービスの調整・提供に努めている。	
26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人様・ご家族様に安心・納得していただける様に、体験入居を行なっている。また、以前の生活環境・状況を伺い、個々に合わせて馴染めるよう活かしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員はレクリエーションや行事、日々の生活を通して、ご利用者様と共に支えあっている。時にはご利用者様から色々な生活の知恵を教わり、学んでいる。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	フレンズ通信や電話連絡・面会等を通しご利用者様についての情報の共有し、協力して支えていける様に努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人様とご家族様の、今まで築かれてきた関係を大切にして、より良い関係が築ける様に努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は面会や電話での連絡といった支援しかない。	○	今後、必要に応じて支援の幅を広げていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングで毎日カルタやトランプ等、皆様が参加できるレクリエーションを行なう等、関係が深まる様に努めている。また、職員はご利用者様が孤立する事のない様に声かけや間に入る等している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	相談の電話や訪問された際には適切な支援・アドバイスが出来る様に努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスやケアチェック表をもとにご利用者の意向に沿ったケアプランを作成し、快適に生活していただける様に努めている。		
34 ○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前の面接時に、ご本人様・ご家族様から生活歴や生活環境等について詳しく聞き、職員間でも情報を共有し、ご入居後も一人ひとりがその人らしく過ごせる様に努めている。		
35 ○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の暮らしの現状を個別記録に記入し、ケアチェック・ケアプランに反映させている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンス等で職員・ご利用者様・ご家族様で話し合ったり、ご利用者様自身の意見を取り入れ、ケアプランを作成しているが、ご家族様も含めた十分な話し合いが出来ているとはいえない。	○	話し合い、意見を聞く場をより沢山作ってきたい。
37 ○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月毎にケアプランの見直しを行なっている。また、見直しが必要と思われる様な変化があった場合はその都度変更している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録、申し送りやコミュニケーション等による情報交換により、ご利用者様の状況を把握し、ケアプランの見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者様・ご家族様の要望を尊重し、出来るだけ柔軟な対応に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察や消防等、地域と協力しながら支援をしている。また、地域の行事にも参加している。		同じ法人内のデイサービスに月に一回出向いて、フラワーアレンジメントに参加している。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	区の介護保険関連事業者連絡会に参加し、区内のケアマネジャーと交流を図っている。		必要であれば各ケアマネジャーに連絡・相談を行なっている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	区の介護保険関連事業者連絡会において、交流を図っている。	○	現在の要支援のご利用者様はいないが、今後必要時は積極的に連携していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週一回、提携医院の医師による往診がある。その他にもご本人様・ご家族様が希望する医療機関へ受診していただいている。		ご利用者様・ご家族様の希望があれば訪問歯科にも来ていただいている。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	毎週一回、提携医院の医師による往診があるが、認知症専門医ではない。	○	認知症専門医と交流を持てる場・機会があればと思う。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	提携医院の看護師に往診時や電話連絡にて相談をしている。	○	ホームに常駐の看護職員がいないので、今後入職していただけたらと思う。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、入院先の医療機関と綿密に情報交換を行い、適切な支援が出来る様努める。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在ホームではターミナルケアの対象者がいないが、ご家族様や他の福祉・医療機関と連携して、円滑に支援が出来る様に努めている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホームでは出来る事は限られているので、医療機関や他の福祉施設・ご家族様と相談しながら今後の変化に備えた対応に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご入居前に面接時に、ご本人様・ご家族様・関係機関と十分に話し合いを行い、情報交換を行っている。また、退去時は移住先とも十分に情報交換を行い、連携を取る様に努めている。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報や記録の取り扱いや保管には充分注意している。		入社時のオリエンテーションにて守秘義務に関する誓約書を提出してもらっている。業務中や業務後もプライバシーの保護には充分注意している。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で要望等を傾聴したり、会話だけでなく表情から読み取る等して支援している。		カンファレンスや申し送り等で職員間での意見交換・情報共有を行い、ご利用者様の想いに近づく様に努めている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様一人ひとりの希望やペースに合わせた生活が送れる様に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	二ヶ月に一度の訪問理容サービスを利用している方がほとんどだが、その都度希望を伺っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きや下膳を手伝っていただいたり、一緒に楽しく食事をとっている。食材も旬の物や季節行事の物を提供する等している。	○	バーベキューやバイキング等、楽しく食べれる企画を行なっていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者様の健康に配慮しながら、できる限り希望に沿える様に努めている。	○	タバコの提供は火災予防のために行っていない。ティータイム時はできるだけ一人ひとり飲みたい物を伺う等したい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導など一人ひとりに合わせた支援をしている。		排泄状況の記録やカンファレンス・申し送り等で、職員間の情報共有に努めている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご利用者様の希望や体調に合わせて入浴をして頂ける様支援している。	○	一日の希望者が多かったり行事と重なり、希望通りにならない日もある。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を尊重し、基本的には好きな時間に休息していただけるよう支援している。		夜間巡視の際は、起こしてしまわない様に配慮している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物を干したり、たたんだりと日常生活の中で行う事で出来る事を手伝っていただき、役割が持てるよう支援している。		カラオケやゲーム等、レクリエーションで楽しんだり喜んだりして頂ける様に努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の出来る方は、職員の見守りのもとで買物等に出掛ける等支援している。		金銭所持を希望される方については、所持が可能かどうかをご家族様も交えて検討し、出来るだけ希望に沿える様に対応している。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に合わせた外出支援をしている。		毎月の行事計画で、外出ツアーを計画し、喫茶ツアー・買い物ツアーや公園等に出掛けている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご利用者様の意見や希望を日々のコミュニケーションの中で引き出し、外出行事で行く事が出来る様に努めている。		ご家族様にも同行していただいての泊旅行も実施している。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の希望があれば電話をしていただいたり、手紙を書く手伝いをする等の支援をしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会ができ、面会時には各々の居室でゆっくりとお話し等をしていただいている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしないケアに取り組んでいる。問題が起きた際は職員間で十分に話し合い、身体拘束に頼らないケアを実践している。		身体拘束に関するマニュアルを事務所に置き、いつでも目を通す事ができる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ご利用者様・訪問者に圧迫感を与えない様に、日中の玄関は開錠している。		防犯のため、18時以降は施錠している。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご利用者様の安全確保を最優先に職員は日々業務を遂行している。		日中、居室にいる際は訪室する等して所在・安否を確認している。また、夜間は一時間毎の巡視を行なっている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に合わせて、危険を防ぐ様につとめている。		現在は各々好きな物を居室に置いていただき、なくすといった対応は行なっていない。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止に努めてはいるが、知識を学ぶ機会はない。	○	リスクマネジメントの研修を行なっていきたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な訓練は実施できていない。	○	緊急時に対応出来る様、職員の目の届く所にマニュアルを置いてあるが、今後訓練や勉強会等を増やしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備え、避難訓練を実施している。		防災マニュアルを置き、常に閲覧できる様にしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご家族様と、ご利用者様の状況等に合わせた対処について話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々バイタルチェックを行い、表情や顔色等にも充分注意している。異変があれば申し送り等で速やかに全職員に報告する。		異変があった際は、提携医師・ご家族様に連絡をし指示を仰いだり相談を行なっている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬している薬の説明書を常に職員の目に届く場所に置き、全員が把握できている。	○	今後、勉強会を設ける等して、薬に関してより理解を深めたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維の多い食品を食事に多く取り入れたり、水分を多く取って頂いたり、体操を行なう等取り組んでいる。		状況によって医師に相談もしている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨きをおこなっている。また、ご自分で行えない方には声掛けや介助をおこなっている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量を記入して、一人ひとりの嗜好を把握しながら量・バランスが保てる様に支援している。		状況に応じて職員間で話し合ったり、医師に相談し、食事量の制限を行う等している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防マニュアルが置いてあり、職員が自由に閲覧出来る様にしてある。		毎食前には必ず手の殺菌消毒を行なっている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、まな板・包丁・ふきんの消毒を行い、衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前の花壇に花を飾り、暖かみを出している。		スロープ・手すり等でのバリアフリーにも工夫している。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア内は季節に合わせた飾りつけをしている。また、ご利用者様と一緒に作成した物を飾る等、皆が心地よくすごせる様に工夫している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では、共有の場所としてすごしていただいているので独りになれる場所がない。ただし、各々の居場所がほぼ決まっており、ご利用様はその場所で思い思いに過ごしてみえる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内にはご利用様様の遣い慣れた物や好みの物を置いていただいている。		高額な物に関しては、ご家族様と相談の上で置いている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に換気を行っており、外気温との差がない様に配慮している。また、冷暖房器具の使用の際も外気温との温度差が大きくなるように配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	随処に手すりを取り付けられ、自立した生活を送れるように工夫している。		二階へはエベーターと手すり付きの階段があり、各々の状態に合わせた移動方法で移動している。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	危険が伴うキッチン・お風呂場は見守り・介助にて使用していただいている。事務所は原則立ち入り禁止だが、それ以外のホーム内は自由に使用していただいている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前の花壇はご利用様と一緒にガーデニング活動を行なっている。また、ベランダは洗濯物を干したり、落ち着ける空間なので自由に出入り使用していただいている。		近々ベランダにてバーベキューを行なう予定。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な、穏やかで明るい雰囲気大切にしている。ご利用者様が笑顔で自立した生活が送れる様に、私たちに何が出来るかを全職員が考え、日々の業務にあたっています。行動力のある、とても暖かいホームです。